

(別紙様式第5号)

令和3年度中山間地農業推進対策事業評価書

1. 取組メニュー

中山間地農業ルネッサンス推進事業（元気な地域創出モデル支援）

2. 事業実施主体名

加美町

3. 事業概要

(1) 事業費・交付額

| 年度 | 事業費 | 交付額 | 備考 |
|-------|----------|----------|----|
| 令和3年度 | 500,169円 | 500,000円 | |
| 計 | 500,169円 | 500,000円 | |

(2) 事業実施期間

令和3年6月14日 ～ 令和4年3月25日

4. 実績評価

(1) 目標の達成状況等の総合的評価

有機農業（水稻）の取組拡大と温室効果防止の取り組みとして、有機農業の抱える雑草抑制に取り組んだ。

土壌状態の還元状態計測器に使用する電極棒（消耗品）を購入し、雑草抑制の実証をおこなった結果、例年3回の除草作業を2回で済ますことができ、収量も約1.5倍増加することができた。

(2) 取組状況

新型コロナウイルスの影響により先進農家への視察研修（栽培講習会）の中止を余儀なくされたものもあったが、その他は計画に沿って実施することができた。

(3) 事業実績

有機農業（水稻）の抱える雑草抑制に取り組む、雑草を抑制し収量を増やすことができた。

(4) 実施体制

加美よつば農業協同組合と連携し、有機米生産に取り組んでいるJA加美よつば有機米生産部に協力をいただき、おおむね計画どおりに実施することができた。

(5) その他の事項

特になし。

5. 事業実施結果

(1) 目標達成状況

| 項目 | 目標値(定量的指標) | 達成状況 |
|--|---|---|
| ①所得の向上に関するもの | | |
| 有機米作付面積の拡大と自然栽培米を普及させ、付加価値の高い米づくりに取り組み、有利販売につなげる。 | 面積 899 a → 1,000 a 収量 240 kg/10 a → 300 kg/10 a | 面積 令和3年度JA加美よつば有機米生産部会では、5,059 aを有機で作付けた。 ※雑草抑制を確立し、更なる面積増を目指す 収量 実証をおこなった3圃場で平均、約1.5倍増加した。 |
| ②人材の確保・育成に関するもの | | |
| 環境保全に取り組む農業者の意識を向上させるために、講習会を実施し有機農業の生産拡大を引率する人材を育成。 | 農業・農村振興(有機農業生産拡大)を牽引する人材 20人 → 30人 | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、講習会は実施することができなかったが、雑草抑制の実証試験を実施した結果、有機農業に関心を持つ農業者を新たに10名確認でき、有機農業生産拡大を牽引し得る人材は30名となった。 |
| ③地域コミュニティの維持に関するもの | | |
| | | |
| ④その他 | | |
| | | |

(2) 所見

みどりの食料システム戦略の実施に伴い、有機農業の取組拡大が求められる中で雑草対策が課題となっているが、今回、土壌の還元状態を測定することで雑草抑制に効果が見られた。また、実証した3圃場全てで収量も平均1.5倍増加したことで大きな効果があったと評価される。